

平成29年度 事業報告書

大慈ひょうご幼保連携型認定こども園

1. 《ヴィジョン》

- ①よりよい環境づくり
- ②誰からも愛される大慈ひょうごこども園
- ③保育者の人間力、保育力の向上
- ④人材確保

2. 《基本方針》

- ①安全を第一に考え、子どもが安心して元気に活動できるよう工夫する
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める

3. 《中長期計画》

- ①理念に基づいた教育・保育を職員で共通理解し、実施する
- ②子ども、保護者に寄り添い、地域と共に歩む
- ③保護者が安心してこども園を利用できるよう配慮する
- ④キャリアパスを基に研修の充実を図る
- ⑤法人内保育園・幼保連携型認定こども園との連携を図り独自性を出す

4. 《平成29年度報告》

- ①保育理念をよく理解し、丁寧に保育を行うよう努めた。
- ②子どもや保護者、地域とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わった。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、保護者に職員を早く覚えていただき親近感を持っていただけるようにした。
 - ・ホームページの更新を行った。
 - ・地域の施設・学校・関係者に園だより等を配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていくようにした。
 - ・要支援家庭に対して、子どもの様子や家庭の状況など話し合う場を持つようにし、変化を見逃さないようにした。要支援家庭の報告を毎月、区の保健部に送り情報の共有をした。
- ③保護者の方が安心して園を利用し、子育てや仕事ができるように信頼関係を保てるよう、常日頃よりコミュニケーションを図った。
- ④キャリアパスを基に研修に参加し、会議などで全職員に伝達をした。
大慈一日研修、子どもの発達（すこやかに関わる事）、保育の実践をふまえた話し等の研修を行った。
- ⑤全園で5歳児会議や運動遊び会議、広報会議を行い、共通理解をし、保育や広報活動を行った。
- ⑥園庭全体に子どもたちに直射日光が当たらずようタープを張った。

5. 《在籍児一覧表》

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	5	17	18	21	19	23	103	104%
5月	7	17	18	21	19	23	105	106%
6月	8	18	18	22	19	23	108	109%
7月	8	18	18	22	19	23	108	109%
8月	8	18	18	22	19	22	107	108%
9月	9	18	18	22	19	22	108	109%
10月	9	18	18	22	19	23	109	110%
11月	9	18	18	21	19	23	108	109%
12月	8	18	18	21	19	23	107	108%
1月	9	18	18	22	20	22	109	110%
2月	9	18	18	22	20	22	109	110%
3月	9	18	18	22	20	23	110	111%
合計	98	214	216	260	231	272	1291	108%

6. 《災害・防犯避難訓練》

- ・全園児避難訓練（火災・地震・津波を含む）…月2回実施
- ・消防士の指導による避難訓練と消火訓練 …年1回実施
- ・防犯訓練（警察の方による、不審者侵入による防犯訓練）…年1回実施
（保育者が不審者になり、園全体で防犯訓練）…月1回実施
- ・火災報知機を新しいものに交替

7. 《行事計画》

※年間行事

月	行 事
4月	入園式
5月	春の遠足（いちご狩り）
6月	食育フェアー 防災フェアー 交通安全教室 歯科教育指導
7月	全園児プール開き プラネタリウム（5歳児） 七夕まつり なつまつり
8月	プール参観 小学校プール お年寄りとの交流会 ワークキャンプ受け入れ
10月	運動会 秋の遠足（全園児） 兵庫区ふれあい会参加
11月	焼きいも大会 参観ウィーク 作品展 兵庫区なかよし会
12月	ドレミコンサート クリスマス会 お楽しみ会
1月	おもちつき そりあそび よい子のつどい（5歳児）
2月	豆まき 生活発表会
3月	おひな祭り お別れ遠足（全園児） お別れ会 卒園式

※月間行事（誕生日会、防災防犯訓練、火災による避難）

8. <<保健衛生計画>>

項目	頻度等
園児・職員定期内科健康診断	園児5月・11月 年2回 職員年1回
園児歯科健診	6月・11月 年2回
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児眼科健診	6月 年1回
園児身体測定	月1回
園児検尿・ぎょう虫検査	兵庫県予防医学協会により年1回
調理員・乳児職員検便	(株) アリケンにより月1回以上
調理室の消毒	サニックスにより月1回
グリストラップ清掃	乾商事により年5回
砂場清掃	年1回

9. <<リスクマネジメント報告>>

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

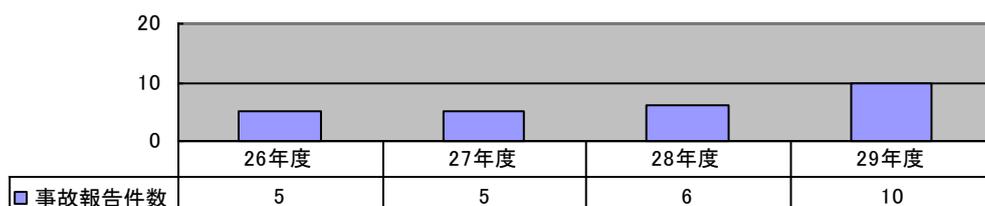
※医師、看護師が常駐していないため、診察を受け医師の判断を仰いだ。

報告 件数	平成 29 年度				報 告 件 数	平成 28 年度			
	合計件数	事故	ドキドキ	処置		合計件数	事故	ドキドキ	処置
1263 件	10 件	1154 件	99 件	882 件	6 件	824 件	52 件		

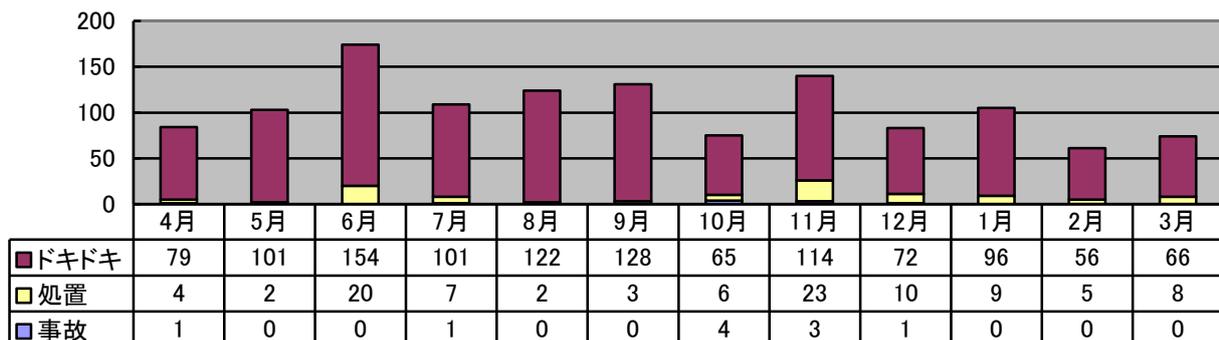
27 年度（合計件数 1965 件、事故 5 件、ドキドキ 1737 件、処置 223 件）

※救急箱の用品を使った際に記入する救急箱用紙の集計も行っている。

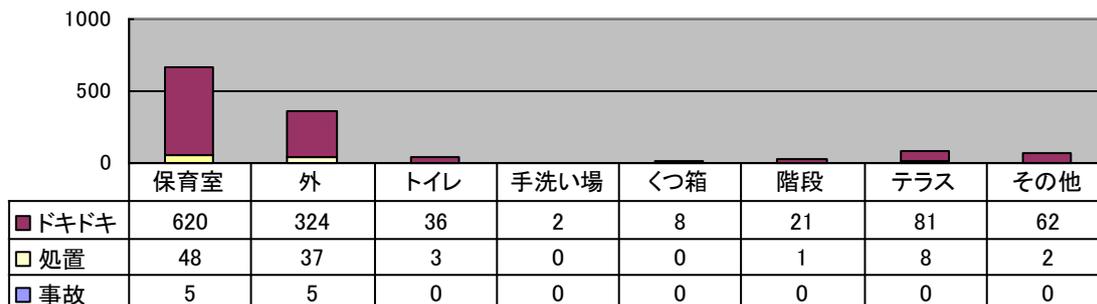
ドキドキの事故用とは異なり、一人で怪我をした際や園以外でケガをした箇所の手当て（例：絆創膏の貼り替え、虫さされ、さかむけ等）を記入する。



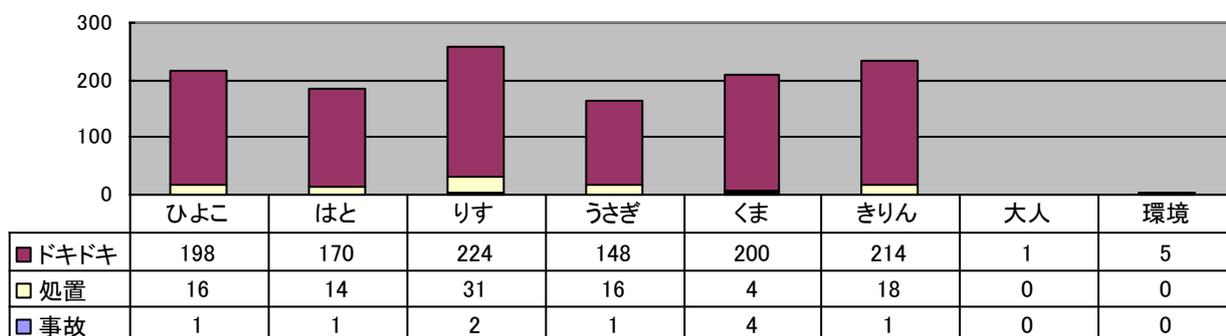
①月別発生件数



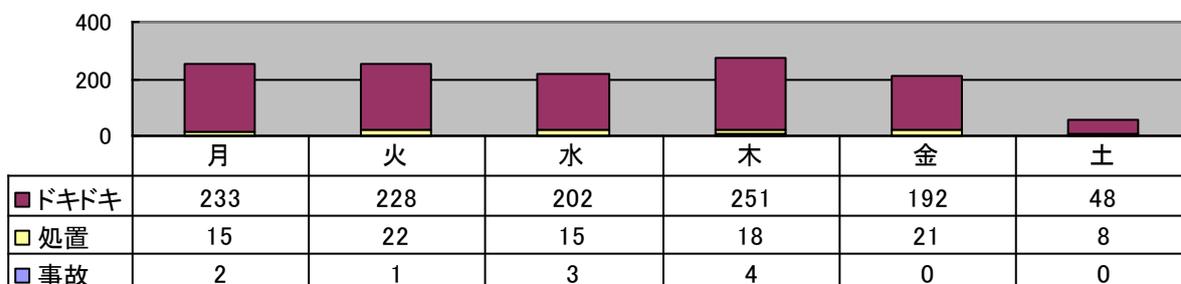
②発生場所別件数



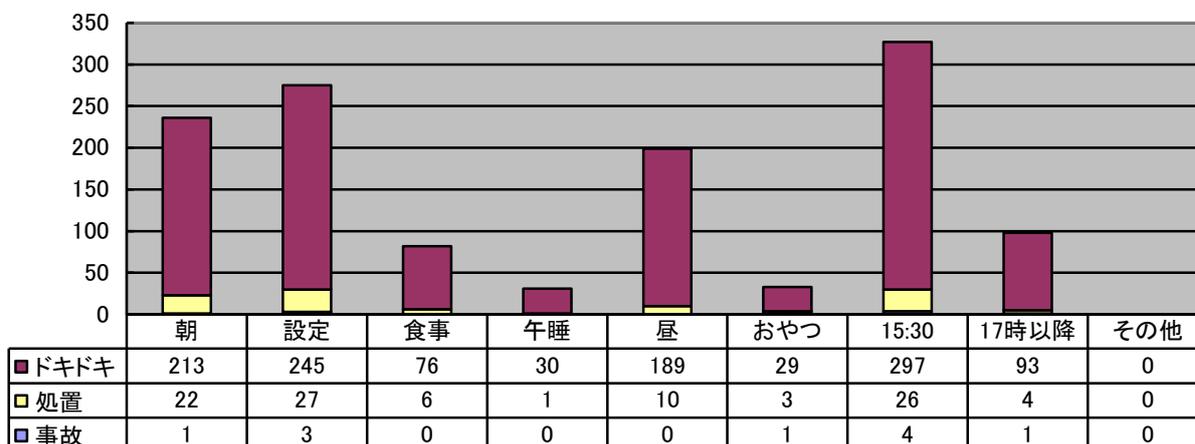
③発生クラス別件数



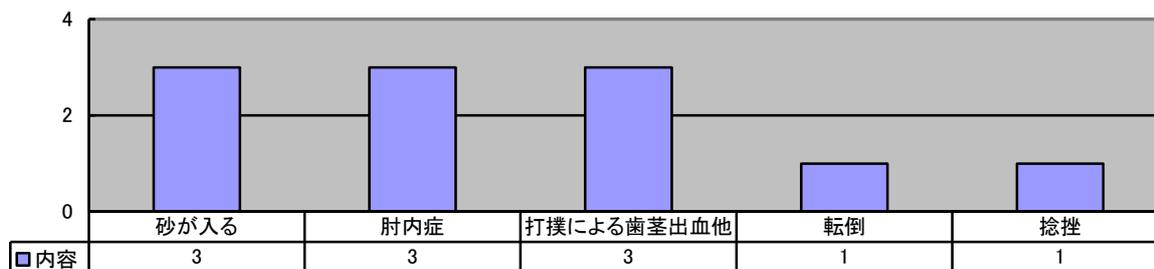
④曜日別件数



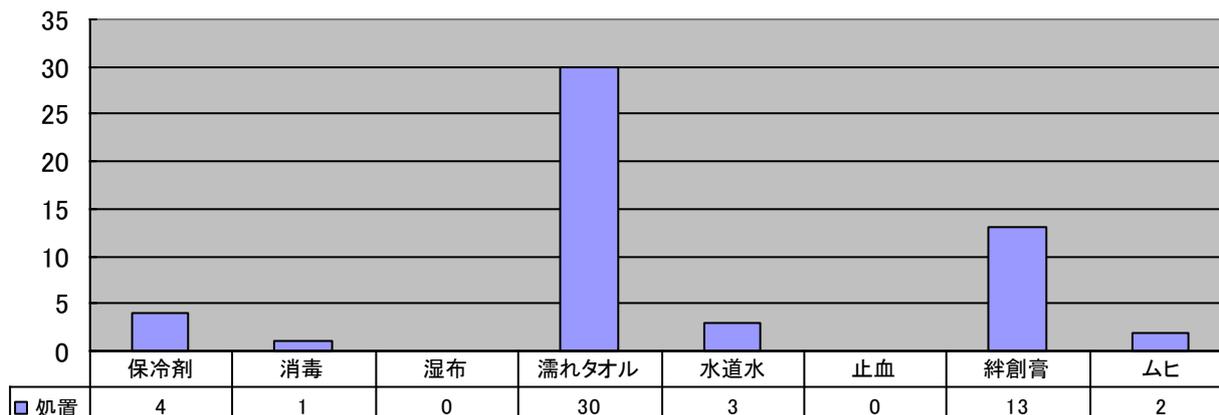
⑤時間帯別件数



⑥事故発生内容



⑦処置件数



⑧ まとめ

昨年度に比べ、ドキドキ件数が多く提出されていた。これからも全職員で危機管理意識を持ち、件数を増やしていくように努力していく。職員一人一人が子どもの安全を確保するため、ヒヤリハットを数多く提出することで、情報を共有し、職員全体で把握していき大きな事故を防ぐよう努めたい。

10. 《苦情・相談結果報告》

○担任への相談 … 1件

・家に帰ると、紙パンツを2枚重ねて履いていたがどういう状況だったのか教えて欲しいということだった。気づかずに2枚はかせていたことを謝罪した。また、確認せずに紙パンツをはかせるよう指示し、指示された方も、子どもの状況をしっかり確認しないまま言われた通りはかせてしまった結果2枚はかせてしまったことを説明し、合わせて謝罪した。今後、職員一人一人が子どもの状況を丁寧にみて十分把握し、確認を怠らないようにする。

○まとめ

今回は園側の子どもに対する対応に大きな問題があった。排泄をさせる時、子ども一人ひとりに丁寧に関わる事を怠っていたことと、確認せずに指示した事、指示された事を確認しないで行なったことで子どもに不快な思いをさせてしまうことになり、保護者にも不信感を持たせてしまうことになった。職員一人ひとりが、行動に責任を持たなくてはいけないことを、十分反省していき、今後このようなことが起きないようにしていく。

11. 《総括》

大慈ひょうごこども園は、地域の皆様に愛されていると実感した。行事に参加して下さったり、地域のイベントに招待していただいたりと良好な関係が築けている。また、来年度は東出町の空き地に、地域の皆様と一緒に花を育てることで、よりよい関係作りをしていき

たいと願っている。これからもずっと地域に愛され続けるよう努めたい。

要支援家庭に対して、兵庫区と密に連携を図り虐待の対応を行うことで、子どもを守ることができた。中国・ベトナム・韓国など海外の方も増えてきた。子どもだけではなく、保護者とも言葉の壁を越えてコミュニケーションが取れるよう努力をしていきたい。初めて1号認定の方を受け入れたが、殆どが在園児の移行であったため余り変化はなかった。しかし、来年度からはそうではなくなるので、より一層、保護者とのコミュニケーションや子どもとの関わり方を考えていきたい。家庭によって支援の内容はまちまちであるが、子どもが安心して過ごせるよう見守り、細かい変化も見落とさず対応をしていきたい。

大慈ひょうごこども園を選んで入園してきていただけるよう、子どもの笑顔や意欲を大切に、一人一人を丁寧な育て、保護者に寄り添い、共に育てていきたい。また、園を知っていただけるよう広報にも力を入れたい。